

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社アスラポート・ダイニング 上場取引所 東
 コード番号 3069 URL http://www.asrapport-dining.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 敏夫 (TEL) 03(6311)8899
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	15,798	93.4	564	12.4	479	6.5	339	△11.5
27年3月期第3四半期	8,167	24.6	502	89.8	450	92.1	383	147.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 345百万円 (△13.4%) 27年3月期第3四半期 398百万円 (115.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	15.50	15.03
27年3月期第3四半期	20.37	19.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,176	4,609	21.5
27年3月期	11,231	2,717	23.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,331百万円 27年3月期 2,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,732	103.6	822	17.4	706	13.5	525	35.1	23.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社TOMONIゆめ牧舎、九州乳業株式会社、除外 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	23,700,015株	27年3月期	20,226,815株
28年3月期3Q	2,400株	27年3月期	2,400株
28年3月期3Q	21,912,273株	27年3月期3Q	18,851,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、一部企業の収益改善や賃金上昇など景気回復の動きが見られる一方で、中国経済の減速や中東情勢の混乱等によるマクロ経済環境への悪影響が懸念される他、円安による輸入品価格の上昇も相まって消費動向も低調に推移しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。また当社が属する外食及び食品生産業界におきましても、円安による原材料価格の上昇や、人件費及び人材採用費の上昇が、利益を圧迫する要因となっており、引き続き楽観視できない状況が続いております。

このような環境下で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題への取り組みを積極的に進めてまいりました。

当四半期連結累計期間の当社の取り組みは、次のとおりであります。まず既存ブランドの当四半期末の店舗数は442店舗（前年同四半期比で11店舗増）となりました。この増加の要因は、昨年5月に連結子会社化した英国法人 Sushi Bar Atari-Ya Limitedの直営店6店舗に加え、牛角も9店舗増加したことによるものであります。また当四半期における全店売上推移は、前年比で10月は109.9%（外食業平均100.5%）、11月は104.3%（同99.5%）、12月は105.3%（同102.7%）となり、外食業平均（一般社団法人日本フードサービス協会による公表数値）を上回り堅調に推移しました。一方で、今後新規ブランドの店舗展開を積極的に行っていくための人材の確保や研修に係る費用負担もあり、一時的に費用が増加しております。

ブランド・ポートフォリオの多様化におきましては、第1四半期に運営を開始したファストフードブランドであるTaco Bellの2号店を平成27年12月に東京・汐留にオープンいたしました。また同12月にベルギーのベーカリーカフェブランドである「ル・パン・コティディアン」(Le Pain Quotidien)の日本における独占ストアライセンス権を獲得し、今後国内での店舗展開を進めてまいります。

海外への展開につきましては、英国で水産物の加工卸を担うT&S Enterprises (London) Limited、食材の輸出入卸を行うS.K.Y. Enterprise UK Limitedを、前述のSushi Bar Atari-Ya Limitedとともに平成27年5月に連結子会社化し前四半期より連結決算に取り込んでおります。

最後に食品生産事業と六次産業化に関しましては、現在、株式会社弘乳舎が全国の「牛角」ブランド店へのPBアイスクリームを提供する等、着実に収益基盤の拡充が進んできております。また平成27年10月に九州乳業株式会社を子会社化しております。同社は九州を中心とする西日本エリアにおいて販売される飲料乳や乳製品の開発・生産を主要業務としおりますが、近年は特に豆乳やヨーグルトなどの乳製品において大幅な成長が続いており、今後、当社グループの生産事業の成長の原動力となる子会社と考えております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,798百万円（前年同四半期比93.4%増）、営業利益は564百万円（前年同四半期比12.4%増）、経常利益は479百万円（前年同四半期比6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は339百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントにつきましては、当社はこれまで店舗運営事業、フランチャイズ事業、食品事業及びその他事業の四分業としておりましたが、当社が進める「食のバリューチェーン」を構築するという方針に沿って、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。

まず、店舗運営事業とフランチャイズ事業につきましては、商品・サービスの販売に係る分野として①販売事業に統合いたしました。次に食品事業に含まれていた商品の卸売りや物流に係る分野を②流通事業とし、残りの食品生産分野を③生産事業といたしました。また、これらに含まれない事業につきましては、これまで通り④その他事業に区分しております。

なお、業績における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。

① 販売

当四半期における、当社グループの直営店舗は52店舗（前年同四半期比3店舗増）、フランチャイズ店舗数は390店舗（同8店舗増）、直営・フランチャイズ店合わせて442店舗（同11店舗増）となりました。この主な要因は、既存ブランドの「牛角」が9店舗増加したほか、新ブランドとして英国で運営する「Atari-Ya」が6店舗、ファストフードブランド「Taco Bell」が2店舗加わったことによるものであります。以上の結果、当第3四半期

における売上高は、7,004百万円、(前年同四半期比17.9%増)、営業利益768百万円(同1.1%増)となりました。

② 流通

当社は当第1四半期に、英国2法人T&S Enterprises (London) Limited及びS.K.Y. Enterprises UK Limitedを連結子会社化し、前四半期より連結決算に取り込んでおります。当第3四半期における売上高は、1,349百万円、営業利益76百万円となりました。

③ 生産

当四半期における生産事業は、当第1四半期には茨城乳業株式会社、同第2四半期には株式会社TOMONIゆめ牧舎、さらには同第3四半期に九州乳業株式会社が新たに加わりました。その結果、当第3四半期における売上高は、7,433百万円、(前年同四半期比235.4%増)、営業利益90百万円(同58.9%増)となりました。

④ その他

その他事業の内容といたしましては、関連会社等への業務受託収入などを中心に、当第3四半期における売上高は、11百万円(同5.4%減)、営業利益0.4百万円(同40.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は20,176百万円となり、前連結会計年度末に比較し8,944百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期連結累計期間において、株式取得により新たに子会社化した九州乳業株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、受取手形及び売掛金が2,779百万円増加、土地や建物などの有形固定資産が3,029百万円増加、のれんが1,556百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、15,566百万円となり、前連結会計年度末に比較し、7,052百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期連結累計期間において、株式取得により新たに子会社化した九州乳業株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、支払手形及び買掛金が2,067百万円増加、短期借入金が1,657百万円の増加、1年内返済予定を含む長期借入金が1,163百万円増加したことによるものであります。

純資産については、第三者割当による増資、新株予約権の行使による増資及び四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末と比べ1,892百万円増加し、4,609百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月12日に発表の適時開示「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、株式会社TOMONI ゆめ牧舎の株式を取得したことから、また、当第3四半期連結会計期間において、九州乳業株式会社の株式を取得したことから、当第3四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,326,845	3,810,211
受取手形及び売掛金	1,187,470	3,966,795
商品及び製品	421,941	719,592
仕掛品	9,815	7,413
原材料及び貯蔵品	31,361	366,116
その他	954,433	1,322,775
貸倒引当金	△17,213	△118,273
流動資産合計	5,914,653	10,074,632
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,397,300	2,863,308
その他(純額)	709,831	2,273,429
有形固定資産合計	2,107,131	5,136,737
無形固定資産		
のれん	1,810,693	3,367,021
その他	44,389	50,779
無形固定資産合計	1,855,083	3,417,801
投資その他の資産	1,354,919	1,546,853
固定資産合計	5,317,134	10,101,392
資産合計	11,231,788	20,176,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	813,528	2,880,739
短期借入金	52,470	1,710,416
1年内返済予定の長期借入金	1,596,978	2,091,839
未払法人税等	164,060	432,275
賞与引当金	23,304	21,515
資産除去債務	—	3,200
その他	995,907	1,793,027
流動負債合計	3,646,248	8,933,014
固定負債		
社債	193,500	123,000
長期借入金	3,570,899	4,239,639
退職給付に係る負債	71,128	461,619
資産除去債務	74,617	89,415
その他	957,533	1,719,416
固定負債合計	4,867,679	6,633,091
負債合計	8,513,927	15,566,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	965,995	1,667,966
資本剰余金	924,292	1,626,065
利益剰余金	703,743	1,043,367
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	2,592,603	4,335,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,123	21,825
為替換算調整勘定	266	△26,785
その他の包括利益累計額合計	3,390	△4,960
新株予約権	23,833	4,531
非支配株主持分	98,034	274,378
純資産合計	2,717,860	4,609,919
負債純資産合計	11,231,788	20,176,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,167,895	15,798,493
売上原価	5,250,822	11,274,878
売上総利益	2,917,072	4,523,615
販売費及び一般管理費	2,414,841	3,959,206
営業利益	502,231	564,408
営業外収益		
受取利息	12,128	15,025
受取配当金	5	1,447
持分法による投資利益	—	399
その他	21,169	41,164
営業外収益合計	33,302	58,036
営業外費用		
支払利息	59,018	78,589
持分法による投資損失	6,014	—
その他	20,335	64,393
営業外費用合計	85,367	142,982
経常利益	450,166	479,461
特別利益		
固定資産売却益	682	44
負ののれん発生益	—	141,269
受取補償金	43,253	—
役員退職慰労引当金戻入額	50,862	—
その他	9,500	49,439
特別利益合計	104,298	190,753
特別損失		
固定資産除却損	5,447	—
減損損失	431	9,133
店舗閉鎖損失	10,871	26,153
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6,604	—
その他	2,021	40,512
特別損失合計	25,376	75,799
税金等調整前四半期純利益	529,088	594,415
法人税、住民税及び事業税	114,652	207,976
法人税等調整額	22,184	32,937
法人税等合計	136,836	240,914
四半期純利益	392,251	353,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,313	13,877
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,938	339,623

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	392,251	353,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,882	18,701
為替換算調整勘定	15,263	△27,052
その他の包括利益合計	6,381	△8,350
四半期包括利益	398,633	345,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,320	329,611
非支配株主に係る四半期包括利益	8,313	15,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月19日付で、東洋商事株式会社が保有する九州乳業株式会社の株式を現物出資する方法にて東洋商事株式会社を割当先とする第三者割当増資を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が532,950千円、資本準備金が532,950千円増加し、新株予約権の権利行使による増加も含め当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,667,966千円、資本準備金が1,367,966千円となっております。